I·O DATA

RSA-PCI2シリーズ

はじめに お読みください

B-MANU200176-03

箱の中には

ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアルNo.(S/N)をメモしてください。

シリアル番号.(S/N)は本製品の裏面に貼られている
12桁のものです。(例:ABC0987654ZX)

シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする
際にも必要な場合があります。
●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

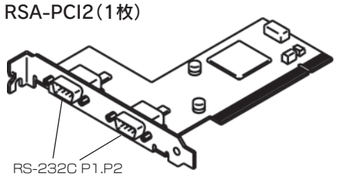
製品名が「RSA-PCI2R」「RSA-PCI2/P4R」「RSA-PCI2/P8R」の場合

本誌の「RSA-PCI2」「RSA-PCI2/P4」「RSA-PCI2/P8」をそれぞれ「RSA-PCI2R」「RSA-PCI2/P4R」「RSA-PCI2/P8R」と読み替えてください。(操作は同様となります。)

ボードとケーブル

●RSA-PCI2の場合

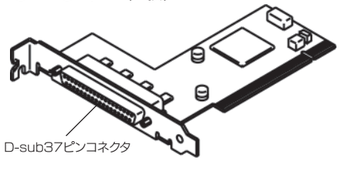
☐ RSA-PCI2(1枚)



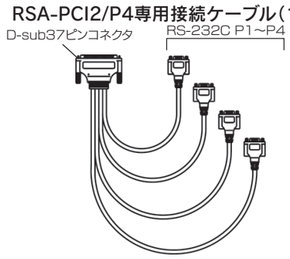
※ケーブルは添付しておりません。

●RSA-PCI2/P4の場合

☐ RSA-PCI2/P4(1枚)

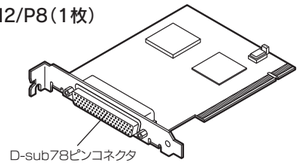


☐ RSA-PCI2/P4専用接続ケーブル(1本)

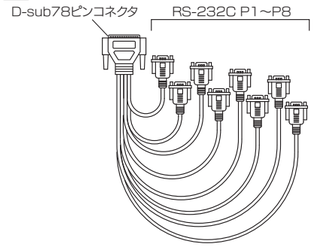


●RSA-PCI2/P8の場合

☐ RSA-PCI2/P8(1枚)



☐ RSA-PCI2/P8専用接続ケーブル(1本)



RSA-PCI2シリーズ共通添付品

☐ RSA-PCI2シリーズサポートソフト(CD-ROM)

☑ はじめにお読みください(本紙)

☐ セットアップガイド

☐ 保証書(1枚)

RSA-PCI2/P8のみ添付品

☐ COMポートNoシール(1枚)

動作環境

●RSA-PCI2およびRSA-PCI2/P4

CPU Pentium166MHz以上※(Pentium200MHz以上推奨)で、PCI(Peripheral Component Interconnect) Ver 2.1以降のバスを搭載したDOS/Vマシン
※RSA-PCI2およびRSA-PCI2/P4を複数枚使用時で、4ポート以上を同時に使用する場合は、CPU Pentium III 500MHz以上が必要です。

●RSA-PCI2/P8

CPU Pentium III 500MHz以上で、PCI(Peripheral Component Interconnect) Ver 2.1以降のバスを搭載したDOS/Vマシン

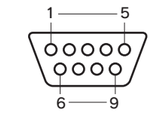
対応OS	
・Windows Vista™ (32ビット版	
・Windows Server 2003, Standard Edition	
・Windows Server 2003, Standard x64 Edition	
・Windows XP Professional Edition	
・Windows XP Professional x64 Edition	
・Windows XP Home Edition	
・Windows 2000 Professional	・Windows Me
・Windows 2000 Server	・Windows 98(Second Edition含む)
・Windows NT 4.0	・Winodws 95

仕様

	RSA-PCI2	RSA-PCI2/P4	RSA-PCI2/P8
コントローラ	Oxford Semiconductor社製 OX16PCI954	Oxford Semiconductor社製 OX16PCI954	Oxford Semiconductor社製 OX16PCI954、OX16C954
ボーレート	最大 921.6Kbps		
同期方式	調歩同期式		
シリアルポート	2ch	4ch	8ch
I/Oポートアドレス	PCIシステムによる自動設定		
IRQ	2個使用(PCIシステムによる自動設定)		
基板外形寸法	119.91mm×96.68mm(スロットカバー含まず)		117.21mm×96.68mm(スロットカバー含まず)
コネクタ仕様	D-sub9ピンオス (ロックナット付: UNC#4-40(インチネジ))	D-sub37ピンメス (ロックナット付: UNC#4-40(インチネジ))	D-sub78ピンメス (ロックナット付: UNC#4-40(インチネジ))
専用ケーブルコネクタ仕様	―――	D-sub37ピンオス⇔D-sub9ピンオス×4	D-sub78ピンオス⇔D-sub9ピンオス×8
質量	約65.0g	約68.0g(専用ケーブル含まず)	約96.0g(専用ケーブル含まず)
専用ケーブル長	―――	50cm	1m
電源	5V±5%		
消費電流	150mA(MAX)	160mA(MAX)	320mA(MAX)
使用環境	温度 0~55℃、湿度 20~80% (結露無きこと)		

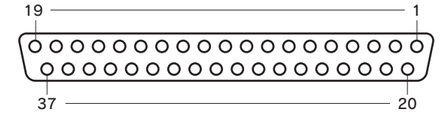
インターフェイス信号とコネクタ形状(RS-232C P1~RS-232C P8)

●D-sub9ピン オス



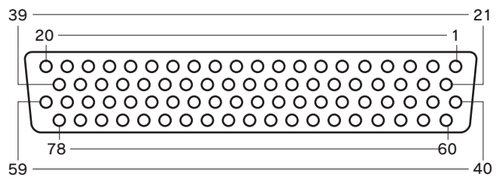
No	信号名	No	信号名
1	DCD	6	DSR
2	RxD	7	RTS
3	TxD	8	CTS
4	DTR	9	RI
5	SG		

●RSA-PCI2/P4 D-sub37ピン メス



No	信号名	No	信号名
1	Port1_DCD	20	Port1_DSR
2	Port1_RxD	21	Port1_RTS
3	Port1_TxD	22	Port1_CTS
4	Port1_DTR	23	Port1_RI
5	Port1_SG	24	Port2_DSR
6	Port2_DCD	25	Port2_RTS
7	Port2_RxD	26	Port2_CTS
8	Port2_TxD	27	Port2_RI
9	Port2_DTR	28	Port2_SG
10	Port3_DCD	29	Port3_DSR
11	Port3_RxD	30	Port3_RTS
12	Port3_TxD	31	Port3_CTS
13	Port3_DTR	32	Port3_RI
14	Port3_SG	33	Port4_DSR
15	Port4_DCD	34	Port4_RTS
16	Port4_RxD	35	Port4_CTS
17	Port4_TxD	36	Port4_RI
18	Port4_DTR	37	Port4_SG
19	GND		

●RSA-PCI2/P8 D-sub78ピン メス



No	信号名	No	信号名	No	信号名	No	信号名
1	Port1_RxD	21	Port1_DTR	40	Port1_DSR	60	Port1_RI
2	Port1_DCD	22	Port1_TxD	41	Port1_SG	61	Port1_CTS
3	Port2_TxD	23	Port2_SG	42	Port2_CTS	62	Port1_RTS
4	Port2_RxD	24	Port2_DTR	43	Port2_RTS	63	Port2_RI
5	Port2_DCD	25	Port3_SG	44	Port2_DSR	64	N.C
6	Port3_RxD	26	Port3_DTR	45	Port3_RTS	65	Port3_RI
7	Port3_DCD	27	Port3_TxD	46	Port3_DSR	66	Port3_CTS
8	Port4_TxD	28	Port4_SG	47	Port4_CTS	67	N.C
9	Port4_RxD	29	Port4_DTR	48	Port4_RTS	68	Port4_RI
10	Port4_DCD	30	Port5_SG	49	Port4_DSR	69	N.C
11	Port5_RxD	31	Port5_DTR	50	Port5_RTS	70	Port5_RI
12	Port5_DCD	32	Port5_TxD	51	Port5_DSR	71	Port5_CTS
13	Port6_TxD	33	Port6_SG	52	Port6_CTS	72	N.C
14	Port6_RxD	34	Port6_DTR	53	Port6_RTS	73	Port6_RI
15	Port6_DCD	35	Port7_SG	54	Port6_DSR	74	N.C
16	Port7_RxD	36	Port7_DTR	55	Port7_RTS	75	Port7_RI
17	Port7_DCD	37	Port7_TxD	56	Port7_DSR	76	Port7_CTS
18	Port8_TxD	38	Port8_SG	57	Port8_CTS	77	N.C
19	Port8_RxD	39	Port8_DTR	58	Port8_RTS	78	Port8_RI
20	Port8_DCD			59	Port8_DSR		

ご注意

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
● Windows Vista™は、Windows Vista™ Operating systemの略称として表記しています。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
● Windows®は、Microsoft®Windows®operating systemの略称として表記しています。
● WindowsNT®は、Microsoft®Windows NT®operating systemの略称として表記しています。

本製品を使用中に、データなどが消失・破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△ この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 <例> 「発火注意」を表す絵表示

○ この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 <例> 「分解禁止」を表す絵表示

● この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。 <例> 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警 告

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。
厳守
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。
ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

本製品をご自分で修理・改造・分解しないでください。
分解禁止
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
電源プラグを抜く
電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を取り付ける場合は、必ず接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
発火注意
- 接続ケーブルは、必ず接続する機器の添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、ケーブルから発煙したり火災の原因になります。
- ケーブルに、ものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ、押しつけ・加工などは行わないでください。
- 指定されたスロットに正しく差し込んでください。

⚠注 意

本製品の取り付け・取り外しの際は、必ずセットアップガイドで方法をご確認ください。
厳守
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

本体を濡らさないでください。
水濡れ禁止
火災・感電の原因となります。
お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

濡れた手で本製品を扱わないでください。
禁止
感電や、本製品の故障の原因となります。

本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。
禁止
故障の原因になることがあります。
- 振動や衝撃の加わる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 直射日光のあたる場所
- 温度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- 水気の多い場所(台所、浴室など)
- 静電気の影響の強い場所
- 傾いた場所
- 強い磁力電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
- 腐食性ガス雰囲気中(Cl2、H2S、NH3、SO2、NOXなど)

≪使用時のみの制限≫
- 保温、保湿性の高いものの近く(じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど)
- 製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。
禁止
- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- 本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

本製品のコネクタ部分には触れないでください。
厳守
コネクタ部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。
本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて静電気を逃がした後で行ってください。

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
厳守
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

本製品を結露させたまま使わないでください。
禁止
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
厳守
- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

本製品を使用する際に取扱説明書などで操作手順説明と異なった操作をしてデータが消失した場合は、データの保障は一切いたしかねます。
注意
取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。

その他注意事項

- 高速なRS-232C通信(230.4Kbps以上)を行う場合は、次の事項にご注意ください。
  - ■RS-232C接続ケーブルは長さ2m以内でシールドされたものをご使用ください。
  - ■230.4Kbpsですべてのポートを同時に通信する際に必要なCPUの目安は4ポート以上使用時にはPentium III 500MHz以上となります。
- データのオーバーフローを防ぐために、フロー制御を設定してお使いください。ハードフロー制御を有効にするためには、必ずRTS/CTS、DTR/DSRの信号線が結線されているRS-232C接続ケーブルをお使いください。
- 通信機器により、設定可能な通信速度は異なり、必ず230.4Kbps以上に設定できるものではありません。
- 本製品に接続されているPnP機器(モデムなど)は自動検出されない場合があります。
  その場合は手動でインストールしてください。
- スループットはシステムの環境により異なります。
- 高速なデータ転送の最中に他のアプリケーションが実行されるとスループットが低くなる場合があります。
- 接続するRS-232C機器が以下の条件のときは使用できない場合があります。
  - ■16ビットアプリケーション制御されている場合
  - ■I/Oポートを直接制御している場合
- スタンバイ、サスペンド、休止状態には対応しておりません。
- シリアルポートから電源供給を必要とするRS-232Cで接続する周辺機器への接続はできません。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。
この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

①まず「本書」「セットアップガイド」「オンラインマニュアル」で、設定などをご確認ください。
※オンラインマニュアルの起動方法は「セットアップガイド」をご覧ください。

②弊社ホームページをご確認ください。
サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例などを紹介しています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決する場合があります。
下記の弊社サポートライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

③それでも解決できない場合は、下記にお問い合わせください。

住所:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター
電話:本社 **076-260-3644** 東京 **03-3254-1144**
※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)
FAX:本社 **076-260-3360** 東京 **03-3254-9055**
インターネット: **http://www.iodata.jp/support/**

お知らせいただく事項

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。
1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のOS、パソコンの型番
3. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
   (画面の状態やエラーメッセージなどの内容)
4. サポートソフトのバージョン

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について
- ■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
  ※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
- ■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
  ※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
- ■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください
お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(S/N)、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください
- ■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可)
  ※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
- ■下の内容を書いたもの
  - ●返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]
  - ●日中に連絡可能な電話番号
  - ●使用環境(機器構成など)
  - ●故障状況

●修理品を梱包してください
- ■上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
- ■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
  ※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください
- ■修理は、下の送付先までお送りください。
  ※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。
  送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- ■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

修理品の返送

- ■修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。
  ※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

R100 古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用しています

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター:〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ:http://www.iodata.jp/support/

2007.7.6 発行

Copyright (C) 2006-2007 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.